

- ◆ 6番（**森田卓司**君） 皆様こんにちは。新風会の**森田卓司**でございます。議員になりました5カ月が経過いたしました。先輩議員の皆様には、諸般にわたり御教授いただき、大変ありがとうございます。まだまだ、なれたとは到底申せませんが、市民の代表として日々努力をしてみたいと考えております。今後ともいろいろと御指導よろしくお願いたします。

質問に入ります前に、去る市議会6月定例会におきまして、私は旧福渡高等学校跡地の有効活用について、建部地域住民の方々の強い展望を込めた個人質問を行いました。9月12日の山陽新聞朝刊で報道されたとおりですが、先日9月11日の建部町合併特例区協議会の会議を傍聴しましたところ、新市建設計画推進局より、岡山市において各局各課にわたる幹部職員で構成した旧福渡高等学校跡地活用検討連絡会議が設置されたことが報告され、地元住民の方々のさらなる活動、情報提供を要請されるなど、同跡地活用に向け新たなスタートが切られたものと感じました。当局の御配慮に対しまして、深く感謝を申し上げますとともに、当連絡会議が有意義に運営されますようお願いするものであります。

前日も申し上げましたが、私個人といたしましても、あらゆるチャンネルを駆使し、また地元建部地域の皆様方とともに、よりよい活用方法を探っていきたいと思っております。先輩議員の皆様、同僚議員の皆様にも申し上げましたが、ぜひいろいろな活用方法をまた教えていただきたいと思っております。

それでは、6月定例会に続き2回目の個人質問に入らせていただきます。

本年1月22日、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市と合併し、その後9カ月が経過いたしました。8月13日には、特例区事業建部町納涼花火大会が高谷市長初め、議会からは宮武議長、磯野副議長を迎え、盛大に開催されました。

また、9月7日には建部地域長寿健康づくり推進大会が村手副市長、議会からは宮武議長、酒見保健福祉委員会委員長ほかの方々をお迎えして開催されました。当局、議会の方々の積極的な建部地域への参加で、地域住民の方々も徐々に岡山市民としての実感と自覚を持ちつつあると思っております。一方、より一層行政サービス向上への期待が高まっているとしみじみ感じております。

政令指定都市への移行が現実味を帯びてきた今、市域全体の一体感の醸成はもちろんのことですが、それには市域では周辺部となる合併したそれぞれの地域の振興、発展が欠かせないものと考え、通告に従いまして次の2項目を質問させていただきます。

まず、道路整備についてお伺いたします。

救急・消防業務における道路整備状況についてお伺いたします。

道路交通網は、便利で安全な日常生活を支える重要な基盤となるものです。しかしながら、私の見る限りでは、建部地域は市内他地域に比較して、整備がおくれていると感じております。平成18年10月に、旧建部町の方々にとって待望しておりました常備消防が、岡山北消防署建部出張所として業務の開始がされました。

平成 18 年 4 月ごろより岡山市消防局により、また平成 18 年 10 月の業務開始後は岡山北消防署建部出張所の職員の方々により、消防・救急活動に際し、旧建部町全域を対象に地形や道路状況ほかを巡回し調査をされました。

合併直後であり、また新市基本計画ハード事業にも市道改良事業が盛り込まれ、当然今年度から体系的、計画的に整備されていくことと確信をしておりますが、救急・消防業務においての現在の建部町の道路について、率直な当局の御所見をお聞かせください。

また、安全・安心のまちづくりを推進する今日、早急な道路整備が必要であると考えますが、当局の道路整備についての今後の方針をお示しください。

次に、広域的交通アクセスの道路整備についてお尋ねいたします。

岡山市都市ビジョン等によると、都市的な利便性と自然の豊かさのどちらも楽しめる都市が、岡山市の目指す庭園都市の姿で、人と環境に優しい交通ネットワークで都心と周辺の地域を結び、バランスのとれたまちづくりを進めることが大切である、とあります。私も、広域連携、広域交流の時代を迎え、広域的アクセスの基盤強化も重要な課題と考えております。

例えば、主要地方道建部・大井線が全線整備されることにより、御津・足守地域との交流が進み、岡山空港へのアクセス、観光ルートとして総社市、倉敷市との交流がより進むものと考えます。

また、同じく主要地方道久米・建部線についても、この道路が整備されることにより、美咲町、津山市へのアクセスの安全性、利便性が向上し、広域交流が図られ、建部町でも最も北に位置する鶴田地域の過疎・高齢化の歯どめにもつながると考えます。

新市基本計画の主要事業でもあります両主要地方道の早期整備が重要と考えます。そこでお尋ねいたします。

- 1、今年度の整備状況をお示しください。
- 2、今後の整備計画についてお示しください。

最後になりますが、たけべの森公園の管理・運営についてお尋ねいたします。

新市基本計画第 4 章まちづくりの基本方針の中での建部地域のまちづくりによると、しだれ桜で名高いたけべの森公園を、新市の北部における観光レクリエーション交流拠点として位置づけて、施設整備や活用を進める等々と記載されております。

たけべの森公園は、緑豊かな建部地域を象徴する観光施設であり、四季折々に表情を変える自然景観はすばらしく、まさに岡山市北部、岡山県の中心の観光レクリエーション交流拠点にふさわしいと考えます。しかしながら、同計画ハード事業にも盛り込まれておりますように、施設の改修等が必要な箇所も見受けられると同時に、さらなる魅力アップをし、集客増を図る必要があると考えます。

魅力アップについては、旧建部町でもさまざまな議論がなされました。しかし、桜、アジサイ、夏の季節以外の集客については、絶対的と言える結論には至らなかったと認識をしております。

集客増を図るため、入園料について現在は大人 300 円、子ども 200 円を徴収していますが、時節——つまり桜とかアジサイ、夏の季節以外ですね——による入園料の設定、あるいは車 1 台当たりの料金にするとか、また完全無料化も考えられるのではないのでしょうか。市民公園として、たけべの森公園の管理運営に対して、当局の現状と今後の課題、方針について御所見をお聞かせください。

以上、1 回目の質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。(拍手)

- ◎ 市長（高谷茂男君） それでは、森田議員のたけべの森公園についての御質問にお答えいたします。

中四国の中枢拠点都市として、政令指定都市への移行を目指す本市におきましては、広大な市域全体の均等な発展が重要な課題であり、そのためには合併地区を含む周辺部の地域振興が不可欠でございます。また、先般策定した水と緑が魅せる心豊かな庭園都市を将来都市像とする都市ビジョンの中で、コンパクト市街地と田園の共生プロジェクトとして、地域拠点の形成を進めることとしております。

建部地域は市の北部に位置し、美しい自然環境に囲まれた八幡温泉郷、たけべの森公園を中心とした観光交流拠点を有する、これまでの岡山市になかった魅力があふれる地域でございます。このような豊かな緑と多様な自然環境や温泉などの地域資源を積極的に活用し、地球環境の保全がキーワードの 21 世紀にふさわしい、自然環境と共生した交流のまちづくりを展開してまいりたいと考えております。

そのほかにつきましては、各担当からお答えいたします。

- ◎ 都市整備局長（白神利行君） 道路整備について、救急・消防業務における道路整備についての中、安全・安心のまちづくりを推進する今日、早急な道路整備が必要であると考えますが、今後の方針を示せとのお尋ねでございます。

合併後の新しいまちづくりのための基本方針である「共に支えあい、環境にやさしい、安全都市環境の形成」及び「快適で、ゆとりある、魅力的都市空間の創出」を実現するため、現在道路整備を進めているところでございます。今後につきましても、市民の皆様方の御意見を賜りながら関係部局と連携し、緊急性の高い路線から計画的に道路整備を実施してまいりたいと考えております。

次に、広域的アクセス道路の整備につきまして、主要地方道建部・大井線、久米・建部線の今年度の整備状況並びに今後の整備計画についてのお尋ねでございます。一括して御答弁申し上げます。

まず、主要地方道建部・大井線でございますが、岡山市建部町桜地内において、延長 1,100 メートル区間が事業中であり、平成 19 年度はそのうち約 300 メートル

区間の改良工事を実施しており、今後は順次改良工事を促進していく予定と聞いております。

次に、主要地方道久米・建部線でございますが、岡山市建部町角石谷から鶴田地内において、延長 919 メートル区間が事業中であり、本年度は用地買収を促進しており、今後も用地買収を促進していく予定と聞いております。

以上でございます。

- ◎ 都市整備局都市・交通・公園担当局長（今岡和也君） たけべの森公園につきまして、市長答弁以外の管理・運営に対するの当局の現状の認識と今後の課題、方針についての所見についてお答えを申し上げます。

たけべの森公園は、昭和 61 年に完成オープンいたしまして、子どもから大人の方まで幅広く親しまれておるといふふうに認識しております。しかし、経年による施設の老朽化が見られまして、本年度はレジャープールの補修を行ったところであり、引き続き新市基本計画に基づき公園のリニューアル化を図り、新たな魅力づくりに努めてまいりたいというふうに考えております。

議員御提案の、時節などによります入園料の見直しにつきましては、今後の課題として研究してまいりたいというふうに考えております。

- ◎ 消防局長（藤原文法君） 救急・消防業務において、現在の建部町の道路について率直な所見をとのお尋ねでございます。お答えいたします。

道路事情は、消防活動を遂行する上で重要な要素の一つであると考えております。山間部の多い建部地域の道路は、中心市街地や平野部に比べ狭隘あるいは急カーブが多いと感じております。そうした中で、地域の実情を踏まえて、できるだけ効果的な消防活動を展開してまいりたいと考えております。

以上でございます。

〔6 番 **森田卓司** 君登壇〕

- ◆ 6 番（**森田卓司** 君） 市長、御答弁ありがとうございました。それから消防局長、ありがとうございました。消防局長の御答弁をお聞きしておりますと、本当に安心できると思います。本当に市民の皆さん、建部地域の皆様だけじゃなくて市民の皆さんが安心できる、私も見習わなくてはならない姿勢だと感じました。

それと、建部・大井線についてですが、国道 53 号線御津草生に設置されておりますテレメーターの累加雨量が 200 ミリメートルを超えると、国道 53 号は通行どめになります。それから、御津・建部線、熊見トンネルというトンネルが開通して現在有効手段として皆さん使われているんですが、この道路も水害、まああつてはならないことなんです、水害があると。また今回調査不足で質問ができませんでしたが、建部町西原地

域においては浸水があったり、それからこの道路が通れなくなったりすることがあります。ダムの放水量等ですね、そういうことで。そのような非常時において、この建部・大井線の果たす役割は非常に重要だと思いますので、まあさっきこういう計画でやっておるといことは言われたんですが、もう政令市になるわけですし、この前もシンポジウムでパネリストの女性が言われましたが、今まではここまでが市道で、ここからは県道だから道路整備とかを要望することに非常に困っていたとか言われておりましたが、今後は市道とか県道とか言わずに、全部市が管理することになるとと思いますので、ぜひ都市整備局長よろしく願いいたします。全線開通とか調査とかするように、ぜひよろしく願いいたします。

それから、たけべの森公園についてですが、旧建部町の広告塔とも言える施設です。私も建部からこちらに来て「どこから来られとん」と言われて、岡山市内で。建部から来ましたと言うと「ああ、たけべの森公園があるところだな」ということをよく言われます。ほかのところは余り言われませんが、岡山市民の方々にとってたけべの森公園は非常に有名なんだなと。それから、地元としても広告塔と言える施設であると考えております。

新市基本計画に基づいた施設整備はもちろんですが、合併によるスケールメリットを生かした魅力アップを、市民に優しい、市民の公園としてあらゆる角度から、入園料を含めた検討をお願いいたします。

また、この公園につきましても、改めて次の機会に個人質問をさせていただきたいと思いますが、担当局長はたけべの森公園に行かれたことがありますか。もし行かれたことがあれば、入園料金を徴収するところがあるわけですが、そこでどのような感想を持たれたかお聞かせください。また、まだ行かれたことがなければ、ぜひ一度足を伸ばしてください。

以上で質問を終わります。

ありがとうございました。(拍手)

- ◎ 都市整備局長（白神利行君） 政令市になっても建部地区の道路整備をという再質問でございますが、政令市になりますと、県管理国道、県道を市が直接整備、また管理をする責務を負うことになってまいります。すべての市民が政令市になってよかったと思えるような道路行政を進めてまいりたいと、こういうふうに考えております。

以上でございます。

- ◎ 都市整備局都市・交通・公園担当局長（今岡和也君） 私自身の話でございますが、一番魅力があると言われております桜の季節にたけべの森公園を訪れたことがございます。そこで感想でございますが、市長が答弁申し上げたように、これまでの岡山

市になかった魅力あふれる公園だというふう感じております。今後も、あらゆる角度から魅力アップのできるような公園としてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〔6番森田卓司君登壇〕

- ◆ 6番（森田卓司君） 立つ予定ではなかったんですが、たけべの森公園について担当局長、桜の季節に行かれたら素晴らしいところだということは、皆さん思われると思います。ですから、この9月から12月の間に、公務で行っていただければいいと思いますので、ぜひ行ってみていただいて、どういう魅力があるか、これは何とかせにやいけんだろうということを絶対考えられると思います。月曜日は休園日になっておりますので、月曜日以外の日に午前9時から午後5時の間に行ってみてください。ぜひ希望いたします。よろしく願います。（拍手）

◎都市整備局都市・交通・公園担当局長（今岡和也君） 四季折々に魅力のある公園というふうに思っておりますので、ぜひ訪れたいと思います。（拍手）

〔市長高谷茂男君登壇，拍手〕

- ◎ 市長（高谷茂男君） 森田議員の再質問にお答えしますが、私も違和感を感じたのはですね、ホテルまで行くのに、あそこへガードマンがおりますね。それで、あそこでお金を取られるんですよ。もう非常に不愉快に感じましたねえ、ある意味で。余りお客さんはいないんですけども、ガードマンの費用とかどういうふうなあれになっとんかわかりませんが、やはりそこらも踏まえて料金問題も考えにやいけんのんじゃないかなあと。私の感想でございます。（拍手）